

長野の林業

平成29年1月10日発行
長野の林業編集委員会

No.324

もくじ



年頭のご挨拶	2
特集 各地域での取組…諏訪/上伊那/木曾/北安曇	6
森の元気情報…森林認証取得と今後の取組…上小森林認証協議会 地域の交通安全に木材利用…長野森林組合	8
トピックス…上伊那地域における 温泉施設での木質ペレットの通年利用	9
WOODコレクション2017に県内企業が出展!	10
平成28年度信州まつたけシンポジウム	11
県森連だより	18
長野県の木材市況	19
絵本の紹介…長野県緑の基金	20

賀正



本年もよろしく
お願い申し上げます

撮影:有井寿美男

六里ヶ原浅間山



年頭所感



中部森林管理局長
新島 俊哉

平成二十九年の新春を迎え、皆様方にとりまして良き一年となりますことを御祈念申し上げます。

さて、新たな森林・林業基本計画が閣議決定されて二年目、国有林野事業が一般会計に移行して五年目となる本年の始まりにあたり、当局の取組について紹介いたします。

当局では、林業の成長産業化への貢献などを通じて地域の振興に努めることが一番の使命との考えの下、森林施業のためのコスト低減や、ニホンジカ被害の防止などの民有林・国有林共通の課題に対し、率先してリスクをとって取り組むとともに、その成果を民有林の皆様にも普及

しているところです。その上で、国有林独自の取組として、森林の持つ公益的機能の発揮や森林資源の多様化を目的として、針広混交林への誘導を進めておりますが、これらの施業の結果得られる木材については、政策を進める手段として地域の林業・木材産業の振興が図れるよう、システム販売等により安定供給に努めております。

森林資源の循環利用を推進していくためには、国産材の需要拡大、特に、最も山元への還元が大きい製材等に使われる木材の需要を拡大することも重要であるため、高齢級ヒノキのブランド化をさらに進めるとともに、カラマツのブランド化についても国有林が率先して推進します。

昨年は「明日の日本を支える観光ビジョン」が策定され、政府一丸となって観光立国の実現に向けて取り組むこととされたところですが、これまで中部局としては、美しい森林やスポーツに適した森林等を「レクリエーションの森」に指定し、地域の皆様と連携しつつ、広く国民の皆様にも提供してきたところです。地域振興のために地域が主体となって活用してい

きたい、というご要望がある箇所については、地域の皆様にしっかりと活用していただけるよう取り組んでまいりたいと考えております。

また、昨年は四月の熊本地震のみならず相次ぐ台風の上陸により、国内各地で甚大な被害が発生しました。こうした山地災害が発生した際は、国有林のみならず民有林の災害についても、県や市町村等との合同によるヘリコプターでの広域的な被害調査を引き続き実施するとともに、国有林があるなしにかかわらず災害の初期段階において治山や林道の技術者を市町村に派遣する体制を整備し、早期復旧に向けた迅速かつ積極的な対応を強化していく考えです。

県や市町村、関係団体、そして地域の皆様と一緒に手を取り合って、地域の振興や安全・安心のためにしっかりと取り組んで参りたいと思っておりますので、皆様により一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

結びに、長野県の森林・林業・木材産業の益々の発展と、皆様のご健勝、ご発展を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年の御挨拶



長野県林務部長
池田 秀幸

平成二十九年の新春を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、日頃から本県の森林・林業・木材産業に関わる施策の推進にあたり格別なる御支援と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、森林県から林業県への飛躍に向け、搬出間伐の推進、林内路網など基盤整備、効率的な県産材の加工流通体制の整備などに重点的に取り組んでまいりました。加えて長野県では、昨年を「コンプライアンス元年」と位置付け、林務部としても県民の皆様の信頼回復に向け、職員一丸となって業務の徹底的な改善に取り組んでまいりました。

さて、戦後植栽された木々が成長し、今まさに森林資源として利用すべき時を迎えており、伐って・植えて・育てる森

林・林業のサイクルを取り戻すことが重要となつている中、昨年は六月の全国植樹祭及び全国林業後継者大会、八月の第一回「山の日」記念全国大会と大規模なイベントが数多く開催され、本県の豊かな森林や山の魅力、林業に携わる人が活き活きと活動することの重要性、幾世代にもわたつて大切に伝承された「木と森の文化」を全国に広く発信することができました。

森林県から林業県への飛躍に向けては、素材生産活動の効率化により林業を活性化させること、また、信州の森林資源の最大の強みともいえる信州カラマツを中心に県産材の需要拡大を図ること、この2つを重点的な柱として取組を強化してまいります。

こうした中、本年五月には「国際ウッドフェア2017」が長野市で開催され、林業に関わるあらゆる最新の機器、技術、情報が国内はもとより海外からも集まる国際展示会となる予定です。多くの皆様に御参加いただく中で、技術交流を進めているオーストリアと連携しながら有意義なイベントにしてまいりたいと考えております。

重要な課題である素材生産活動の効率化につきましては、林内路網整備や高性能林業機械の導入といった従来からの林業経営基盤整備に加え、効率的な施策を促進するための森林所有者の情報等の

整備やICTを活用した境界明確化、伐採から植栽まで連続作業で造林経費の低コスト化を図る取組、コンテナ苗を用いた効率的な植林作業の導入など、新たな信州林業創生に向けて取り組んでまいります。

また、県産材の需要拡大につきましては、信州F・POWERプロジェクトの推進、信州カラマツの大径材を製品化するための新規用途開発、信州木材認証製品センターと県林業総合センターが共同で開発を進め、建築基準法に基づく国土交通大臣認定を受けた「信州型接着重ね梁」等の販路拡大を進めるほか、「信州の木自給圏構築事業」により地域ごとの林業・木材産業の自立に向けた戦略を検討し、将来的な事業化に結び付けてまいります。

地域における里山の持続的な利用・管理に向けましては、引き続き必要な森林整備を推進するとともに信州ジビエのブランド化の推進に取り組んでまいります。

こうした取組を進める上でも、県民の皆様からの信頼が不可欠であり、引き続き県民の皆様からの期待に応えられるよう、全力で森林・林業施策を推進してまいります。

結びに、今年一年の皆様のお健康と御多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の御挨拶いたします。



次代へ森を活かして 地域を創る



長野県森林組合連合会
代表理事会長
藤原 忠彦

新年あけましておめでとうござい
ます。

新春にあたり皆様方には、日頃より森
林組合活動につきましてお寄せいただい
ておりますご支援とご協力に対し厚く御
礼申し上げます。

森林の持つ多面的機能の維持・発揮が
一層求められている中で、昨年六月五日
に第六十七回全国植樹祭が天皇皇后両陛
下をお迎えし盛大に開催されましたこと
は何よりもの喜びでありました。「ひと
ゆめ みどり 信濃から未来へつなぐ

森づくり」を大会のテーマとし、豊かな
自然、美しい景観をつくり、私たちに様々

な恵みを与えてくれる長野県の森林を県
民一人一人が協働して守り育て、未来に
引き継いでいくという姿を全国へ発信す
ることができました。

更に、七月第四日曜日を「信州山の日」
とし、八月十一日全国「山の日」が国民
の祝日となり、松本市上高地で第一回
山の日記念全国大会が開催されました。
県民にとって森林がより一層身近な存在
となればと願うところです。

このように森林に対する期待と関心
が高まる一方、残念ながら林業は長期に
渡る木材価格の低下や需要構造の変化か
ら、低迷の一途を辿っておりますが、こ
れを糧として、循環型社会を形成する成
長産業として変貌を遂げる転換期にある
ことも事実であります。私達に引き継が
れてきた森林は、植えて育てる時代から、
いよいよ使う時代になり、「伐って、使っ
て、植えて、育てる」というサイクルを
取戻し、未来永劫豊かな森林を引き継い
でいく事が私たちの目指すところであり
ます。

これを実現するためには、森林所有者
の境界の明確化や担い手の確保、苗木の

安定供給、ニホンジカや松くい虫等の病
虫獣害対策等、多くの問題を解決してい
かなければなりません。森林組合は施業
の集約化と生産コストの低減をより一層
進め、県産木材の安定的な供給に努める
と共に、その需要を加速度的に進めるこ
とを林業・木材産業関係者と一体となっ
て行動を起こし「ウッドファースト社会」
の実現に努めてまいります。

また、自立可能な林業経営を目指し
て五年後の目指すべき姿を描く、次期森
林組合系統運動「森林・林業・山村未来
創造運動」次代へ森を活かして地域を創
る」を策定し、①施業の集約化と先進
技術の活用等による効率的な事業基盤の
整備 ②系統のスケールメリットを活か
した国産材安定供給体制の構築 ③組合
員・社会に信頼される開かれた組織づく
りを実施項目として取り組んでまいりま
す。

皆様のご支援、ご協力をお願い申しあ
げるとともに、この新しい年が皆様方に
とって良き年となりますことを祈念申し
上げ新年の挨拶といたします。

ウッドファースト 社会を目指して



長野県木材協同組合連合会
理事長
宮崎 正毅

明けましておめでとうございます。
当連合会への日頃からの、御支援・御協力に感謝するとともに、本年も変わらぬ御指導の程よろしくお願い申し上げます。

昨年は、四月、熊本県益城町にて震度7の地震が発生しました。また、八月中旬には関東や北海道に相次いで台風が上陸するなど大きな被害となりました。被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになった方には心より御冥福をお祈り申し上げます。

一方、長野県におきましては、五十七

年ぶりの全国植樹祭が長野市を中心に天皇皇后両陛下をお迎えし開催されたほか、八月には上高地で第一回「山の日」記念全国大会が、皇太子同妃両殿下をお迎えし開催され、本県の森林・林業を全国に発信できたものと思います。

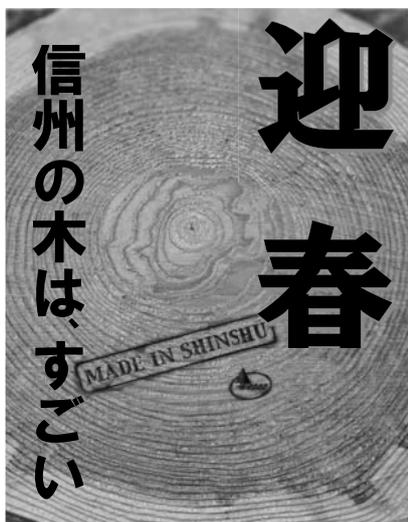
さて、木材産業・林野行政を巡る情勢はCLT工法の告示や「合法木材等の流通及び利用の促進に関する法律（クリーンウッド法）」が来年の施工に向け政省令案の提示が待たれています。また、新しい森林・林業基本計画の閣議決定がされ、本格的な利用期を迎えた森林資源を活かし、需要面においては、CLTや非住宅分野等における新たな木材需要の創出と、供給面においては、主伐と再造林対策の強化等による国産材の安定供給体制の構築を車の両輪として進め、林業・木材産業の成長産業化を図ることとされています。

当連合会でも、木材の新たな需要拡大を目指し、昨年四月に信州木材認証製品センターが建築基準法の大匠認定を取得した「信州型接着重ね梁」を主体として

県内外の展示会に出展し、県産材利用の拡大に努めてまいりました。

今後、森林・林業関係者が、率先して公共建築物の木造化等を軸にコンクリート化社会から木材を利用するウッドファースト社会の実現に向けた取組みが必要です。ウッドファースト社会は、地域の資源である裏山の森林資源を活かし、地方の林業・木材産業の皆様から都市に向けた発信から始まるものと考えています。

結びに、本年が皆様にとって良い年となりますよう、皆様の御健勝と御多幸を御祈念申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。



林野火災からの復旧にむけて

平成二十七年三月三十一日に岡谷市川岸地区で発生した林野火災(森林被害面積約四十四ヘクタール)について、復旧の進捗状況をお知らせします(被害概要等は「No.309・312」で紹介)。

当地の林野火災を受けて設立された新倉山復旧協議会は、被害森林の所有者からの森林整備同意取得を進め、平成二十八年四月に森林経営計画を策定しました。これにより、国庫補助事業を活用した森林整備事業が実施可能となり、大洞沢地区において約五ヘクタールの森林整備事業(枯損木伐採)を発注し、現在施工中です。

治山事業では蛇洞沢・若宮地区において平成二十八年度事業(枯損木伐採)を発注し、三・五四ヘクタールを現在施工中です。さらに、平成二十九〜三十年度にかけて、毘沙門沢を中心に約十二ヘクタールの整備実施に向けて計画中です。

また、当森林はきのこ山でもあるため、林野火災による「ツチクラゲ」の発生が懸念されていましたが、岡谷市と諏訪地方事務所林務課が県林業総合センターの協力を得て実施した調査では、昨年度から発生がみられたものの、今年度は減少傾向にあることが確認されました。



【岡谷市・諏訪地方事務所】

水上さん親子の原木林造成の取組

東日本大震災以降、国内最大の供給地だった福島県からの原木供給が困難になったことで、しいたけ原木の入手難が続いています。また、県内には薪炭林・原木林として使われた広葉樹林が少なからず残っていますが、その多くは高齢・大径化し、原木としては使い難くなっています。

上伊那地域で最大の原木しいたけ生産者である水上平八郎さん・積善さん親子は、クヌギを主体に年に一万五千〜二万本程の原木に植菌を行っています。良質の原木を安定的に入手するには、地域の原木林の状態を把握し、適切な育成・管理を行わなければならないと感じた水上さんは、周辺の森林所有者に働きかけ、森林組合と共同して森林経営計画の策定を進めるとともに、二十年以上前から自らの所有山林においては、元々コナラ・クヌギ主体だった林分に加え、針葉樹の伐採後にクヌギを植栽し、原木林としての整備を進めてきました(樹高一メートル弱の四年生苗木を一ヘクタール当り三千本植栽)。造成後は、二十年後の伐採と、その後の萌芽更新木の十年後の伐採を目指し、施肥等により肥大成長を促してきました。

平成二年に最初に植栽した林分は、平成二十五年に伐採し、現在、萌芽更新木が成長しています。早ければ五年後に伐採できそう、とのことでした(写真)。優良原木の安定確保に向け、水上さんの取組を管内に普及していきたいと思えます。

【上伊那地方事務所】



木曽林業士会の実践研修で 林業技術を磨く

長野県林業大学校の二年生二十名を対象とした、伐木・造材・搬出の実践研修を木曽林業士会(吉川正樹会長)が行いました。研修場所は、王滝村の村有林(五十年生のカラマツ林)をお借りしました。

研修を通して指導にあたった木曽林業士会のメンバーからは、「熱心に受講する姿から林業の担い手としての意欲が感じられた。」「学生のレベルも年々上がってきている。」と林業の担い手として期待をする声が聞かれました。

又、研修生からは、「伐倒の難しさを再認識した。基本が大切ということをもつて感じた。」などの感想が寄せられました。最後にチェーンソーの手入れを行い研修は締めくくられました。

これからも、次世代の林業を担う人材の確保・育成に木曽林業士会では取り組んでいく予定です。

【木曽地方事務所】



伐木・造材後のチェーンソーの手入れの様子

小谷村における里山活用の取組

小谷村は、民有林の約8割を広葉樹が占めます。その豊富な資源を活用するための取組を紹介します。

一つ目は、小谷村キハダ生産組合によるkihada黄金の樹プロジェクトです。漢方薬の原料となるキハダは、梅雨明け後の短期間に伐採して内皮を剥ぎます。販売するのは内皮のみであり、幹は現地に放置されてきました。本プロジェクトは、幹材を小学校の学習机や道の駅で販売するコースターなどを目標とし立ち上がりました。生産、林業、木工製作、学校、販売の関係者が協力して取り組んでいます。将来は、キハダ以外の広葉樹も含め、小谷村から良質な広葉樹材が流通していくために頑張っています。

二つ目は、小谷(おたり)樹液プロジェクトです。イタヤカエデという木は、カナダのメープルシロップを作るサトウカエデと同じような糖分のある樹液を採取することが出来ます。国内では、埼玉県の秩父樹液生産協同組合の活動が有名です。二月に中谷地区の方たちと訪ね、樹液の採取現場を視察したところ、早速やってみよう、ということ

ことで試験的に採取してみました。木に小さな孔をあけると、たちまち樹液が沁みてきました。その瞬間、小谷村の新たな特産品の可能性が拡がりました。採った樹液は、そのままでもほんのり甘く美味しいです。四十分の一まで煮詰めるとメープルシロップです。これから製品化へ向けてみんなで準備します。



【北安曇地方事務所】

上小地域の森林認証取得と 今後の取組について

『持続可能な森林経営』という概念は、1992年の地球サミットで提唱されましたが、これ以降、今日まで多くの林業地の課題は、間伐を中心とした森林整備であり、この言葉が語られることは少なかつたように思います。その後、課題は森林活用、木材利用、林業活性化等へとどんどん進み、ここに来て「持続可能な森林経営」が目標として現実味を帯びる時代になってまいりました。

上小地域では、上小森林認証協議会を設立、市町村有林、財産区有林、県有林約九千ヘクタールの認証を取得し、活動を始めました。今後は所有を超えた目標の共有と、取組の検証が必要となりますが、共有する目標は『①地域の安全安心 ②林業再生・地域振興 ③資源の循環利用 ④地域住民の文化・保健休養等』に資する持続可能な森林経営の実現です。

そして、上小の認証森林は公有林が中心ですので、地域社会との持続的な繋がりが大切であり、取組内容を地域にPRしていくことが肝要で、認証制度はこのための有効なツールになると思っています。まだ始まったばかりですが、関係者がスクラムを組み、新しい時代に踏み出す気概を持って、オリンピック施設等に上小の認証材が、未来に向けたモニタメントとして使われるよう取組んでいけたらと思っています。

【上小森林認証協議会】



認証(SGE C)の刻印を打った丸太



带状皆伐(更新伐)による認証材の生産現場(上田市東御市真田共有財産組合有林)

地域の交通安全に木材利用

【長野森林組合】

長野森林組合の管内で信濃町、飯綱町を管轄している北部支所の旧支所であった建物を、地域との結び付きを因るため連絡所として活用しています。

その連絡所の前に市道を挟んでJAの支所があり、そこへ車で来られたお客様が、帰りに県道を越えて一段下がった連絡所敷地までバックして後輪を脱輪してしまい、自力では脱出できない事がたびたび発生し、その度にJAの職員の方々により救出してもらっていると職員から報告がありました。現地を調べると、運転される方々は連絡所の敷地と市道が同じ高さであると思い込んでいらつしやるのではないかと考えられました。

そこで、少しでも安全運転に役立てばと、写真のような視線誘導施設を当組合の木材加工場で作成し設置いたしました。ガードレールの強度には及びませんが、木材で固定してありますので、もしぶつかってしまっても車はほとんど傷まないと思われまます。また冬は除雪で邪魔になりますので柱を楽に抜きとれるように工夫しました。木材利用の一環として参考にして頂ければと思います。





上伊那地域における

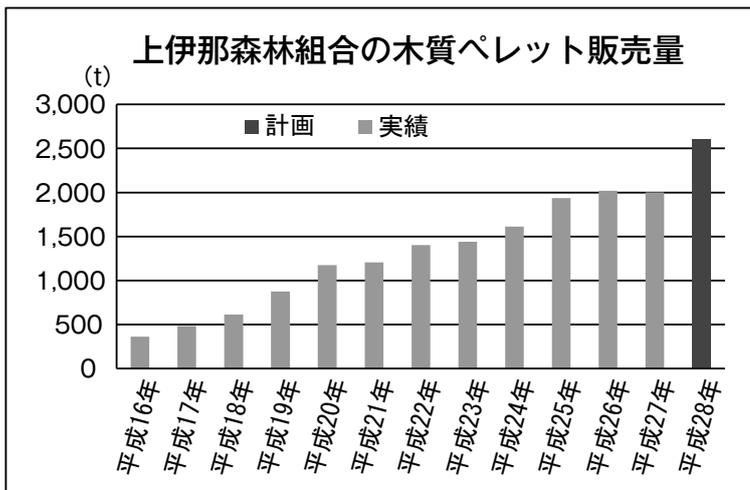
温泉施設での木質ペレットの通年利用

上伊那森林組合が長野県で初の木質ペレットの製造を始めてから、今年で十二年目を迎えました。

カラマツやアカマツの間伐材などを原料として木質ペレットを生産し、一年目は三百六十トンだった年間生産量も、近年は順調に増え、目標の千七百五十トンを上回り、平成二十八年度は、工場の稼働時間を延長して二千六百トンの販売が見込まれています。

上伊那地方事務所管内でも、五百台を超えるストーブと、十八基のボイラーが設置されていますが、その多くが暖房用として利用されるため、冬場に需要が集中する一方で、夏場の流通が少ないことから多くの在庫を抱えているため、木質ペレットの生産量を安定的に増やすには、通年での需要を確保していくことが必要となっています。

桜で有名な伊那市高遠町の城下町にある、信州高遠温泉『さくらの湯』は、平成六年の開業以来、地元住民をはじめ高遠城址の花見客、南アルプスの登山客などに親しまれています。



昨年までは灯油を使用したボイラーで温泉の加温をしていましたが、地域に豊富にある森林資源を有効に使用するため、木質ペレットを燃料とするボイラーを導入して、今年の四月から稼働を始めました。

稼働後約半年が経過したところですが、営業の前にボイラーに火を入れて加温する際、ペレットボイラーの熱効率が良いために以前に比べて利用可能な温度になるまでの時間が短いこと、また、価格の変動の大きい灯油に比べ、木質ペレットの価格が安定していることから光熱水費の見込みを立て易いことなど『さくらの湯』からも好評をいただいています。

今後、ペレットストーブの普及を図るとともに、温泉施設や農業用ハウスの利用などでのボイラーの設置を進めて、木質ペレットの安定的な生産と供給を図ることで、身近な森林資源を活用したぬくもりを多くの方々にお届けしたいと思っています。

【上伊那地方事務所】



信州高遠温泉『さくらの湯』



ペレットボイラー

日本各地と東京都が連携して木製品をPR!

「WOOD」レクシオン2017」に県内企業が出展します

首都圏や中京圏への木材製品の販路開拓の取組の一環として、東京都内で開催される木製品展示会に県内から十四者が出展し、長野県産材製品のPRを行います。

東京都では、平成二十七年十一月から「ALL JAPAN & TOKYO プロジェクト」をスタートさせています。このプロジェクトでは、観光や産業分野において、東京都と日本各地がそれぞれの魅力を高め、互いに協力し合うことでWin×Winの関係を構築し、真の地方創生が実現できるよう、様々な取組を展開しており、今回開催される「WOODコレクシオン2017」も当該プロジェクトの目玉として、昨年度二月に記念すべき一回目が開催されました。

第一回目は、東京都、長野県、岐阜県の一都二県で五十者程度の出展でしたが、二回目となる今回は、震災の復興支援として岩手県、宮城県、福島県、熊本県、大分県が参加し、その他にも福井県、山梨県、秋田県、静岡県、和歌山県を加えた一都十二県から総勢百三十四者の木材製品製造者や関連する団体が参加する規模の大きい展示会となります。

長野県は、今回参加する他県と比べ、首都圏へ近い、カラマツをはじめとした多様な樹種に恵まれている、といった利点を最大限に生かしPRをしたいと思えます。



前回の展示会の様子

日時

平成二十九年一月十九日（木）から二十日（金）

場所

東京ドームシティ プリズムホール
東京都文京区後楽一―三―六

主催

東京都

出展者

日本各地の木材製品製造者、団体等 百三十四社
（長野県からの出展は、左表のとおり）

出展企業
有賀建具店
(社福) アンサンブル会
(株) 勝野木材
小林木材(株)
齋藤木材工業(株)
酒井産業(株)
征矢野建材(株)
長野県森林整備加速化・林業再生協議会 (信州木材認証製品センター)
竹村工業(株)
長野県産材販路開拓協議会
日本木槽木管(株)
株式会社ニュースト
(株) 山崎屋木工製作所
林友ハウス工業(株)
14者

内容

多摩産材と日本各地の地域材を活用した製品の展示、著名な建築家や学識経験者によるセミナーの開催

その他

出展者やセミナーの情報等はこちらからご覧いただけます。

<http://www.mokucolle.jp/index.html>

【県産材利用推進室】

平成二十八年度 信州まつたけ シンポジウムが開催されました

【信州の木活用課】

十二月九日に塩尻市の林業総合センターにおいて、長野県特用林産振興会主催の平成二十八年度信州まつたけシンポジウムが開催されました。当日は会員を主に一〇八人が参加されました。

最初に林和弘会長があいさつし、当シンポジウムが昭和六十二年の開催以来今回が三〇回目で、マツタケの「作る」技術が着実に定着してきたことを実感していると述べられました。

続いて、地方独立行政法人北海道立総合研究機構林産試験場の宜寿次盛生氏が「北海道におけるマツタケの研究について」と題し講演されました。

最初に北海道のマツタケの分布と生産について、道内ではハイマツ林やアカエゾマツ林、トドマツ林でマツタケが確認されており、卸売市場には道内各地からマツタケが入荷している状況が報告されました。

続いて北海道でのマツタケに関する試験研究について、トドマツ林で発生環境整備を行ったところ効果が確認され



講演する宜寿次氏

たこと、シロの成長速度は本州に比べて遅いことが報告されました。また最近では、トドマツ苗を用いたマツタケ感染苗を作り出す取組について紹介されました。

次に、信州の木活用課から、マツタケ発生状況と各地の取組について、今年八月下旬の降雨で例年より早い九月月上旬から発生した地域が多く、発生量は推計で平年より多い43・9トンとなり豊作と推測していること、また、南信を中心として各地で発生環境整備が行われていることを報告しました。

続いて林業総合センター特産部から、県内の気象と試験地におけるマツタケの発生状況について、気象については、五月から七月の気温・降水量とも、シロの発達に問題とならない状況で推移し、八月中旬以降は全県的に平年を大きく上回る降水量となり、マツタケの発生にプラスに関与する一方、十月上旬の気温が平年よりも高く、一部の地域ではマイナス要因となったと報告がありました。

試験地でのマツタケの発生状況については、上伊那・下伊那の試験地で収穫数が平年を上回る試験地が多かった一方、松枯れ被害の影響が懸念される上小・松本の試験地では平年を下回りました。

参加者は講演を真剣に聞き入り、マツタケ生産に対する強い熱意が感じられるシンポジウムとなりました。



参加者で満員の会場



謹賀新年



一般社団法人

長野県林業センター

理事長 藤原 忠彦
副理事長 宮崎 正毅
副理事長 木下 茂
常務理事 塩入 修

長野県林業団体協議会

会長 滝澤 栄智
副会長 宮崎 正毅
副会長 木下 修

長野県森林組合連合会

会長 藤原 忠彦
副会長 林和 弘
専務理事 滝澤 栄智
常務理事 安原 輝明

長野県林業労働財団

一般財団法人
理事長 中村 慎
役員一同

長野県林業労働力確保支援センター

国立研究開発法人森林総合研究所
森林整備センター
長野水源林整備事務所
長野県水源林造林協議会
所長 山崎 英志
会長 長中村 武雄

長野県木材

協同組合連合会

理事長 宮崎 正毅
副理事長 佐原 良彦
副理事長 都築 透
副理事長 大久保 健一郎
副理事長 岡島 幸郎
専務理事 松本 寿弘
事務局 宮崎 本

素材生産部会

部長 由井 正隆

流通部会

部長 野村 弘

木造住宅部会

部長 田中 一興

信州木材認証

製品センター

理事長 宮崎 正毅
副理事長 齋藤 廣
副理事長 滝澤 栄智
専務理事 宮崎 本
事務局 長 本 寿弘

林業・木材製造業労働災害防止協会

長野県支部
支部長 細川 智國
副支部長 滝澤 栄智
専務理事 大宮 博利
事務局 長 大宮 利

長野県治山林道協会

会長 羽田 健一郎
役員一同

長野県猟友会

一般社団法人
会長 赤津 安正

信州の緑と

野鳥を守る会

一般社団法人
理事長 小林 富夫

長野県山林種苗協同組合

理事長 富澤 修一
組合員一同

長野県林業

コンサルタント協会

一般社団法人
理事長 羽田 健一郎

長野県林業普及協会

一般社団法人
会長 林 和弘

長野県林業経営者協会

会長 神戸 直日

長野県特用林産振興会

会長 林 和弘

長野県林業研究グループ

連絡協議会
会長 田中 忠

長野県林業士会

会長 長川 島潤一

謹賀新年



長野県生産森林組合
等団体有林連絡協議会

会長 長 鮎澤 光昭

長野県森林組合長会

会長 長 林 和弘

長野県造林協会

会長 長 藤原 忠彦

長野県林業

薬剤防除協会

会長 長 石川 亮

農林中央金庫

関東業務部長 有 田 吉 弘

佐久森林林業振興会

役員一同

上小林业振興会

会長 長 羽 田 健一郎
役員一同

諏訪地域森林づくり
・林業振興会

役員一同

上伊那山林協会

役員一同

下伊那山林協会

役員一同

木曾山林協会

会長 長 貴 舟 豊
役員一同

松本地域森林
林業振興会

役員一同

長野地方緑化
推進委員会

会長 長 横 川 正 知
役員一同

北佐久木材協同組合

理事長 伊 藤 晴 彦
組合員一同
事務所 小諸市大字平原四ツ谷原九六七七
☎(〇二六七)二二一三二一〇
FAX(〇二六七)二四一〇六八三

上小木材協同組合

理事長 大久保 陸 男
組合員一同
事務所 上田市芳田一八一八一
☎(〇二六八)三五一四〇〇

南佐久北部森林組合

代表理事 佐々木 定 男
組合長

南佐久中部森林組合

代表理事 黒 澤 和 夫
組合長

南佐久南部森林組合

代表理事 藤 原 忠 彦
組合長
レストラ
四季の味 樹木里

信州上小森林組合

代表理事 倉 沢 明 人
組合長
緑の担い手
役員一同

諏訪森林組合

役員一同



謹賀新年



東信素材生産事業

協同組合

理事長 星野勝好
組合員一同
小諸市大字平原字四ツ谷原九五五一
TEL(〇二六七)二二一五〇四五
FAX(〇二六七)二二一五〇三二五

南安曇木材協同組合

理事長 佐原良彦
安曇野市豊科四九三二一三九
株佐原建設内
TEL(〇二六三)七二二一〇〇〇

飯伊木材協同組合

理事長 林宗広
事務局 飯田市常盤町三〇
飯伊森林組合内
TEL(〇二六五)二二一八四五

北信木材生産 センター協同組合

代表理事 竹下元治
専務理事 小林健

木曾木材生産事業協会

会長 神田清二
木曾郡上松町荻原中島一五七九一三

東京戸張株式会社

ワイヤーロープ・カシカ用防護柵の販売
落石防護施設の設計・施工・資材販売
東京都港区浜松町一丁目一七番六号
TEL(〇三)五四〇五一〇八一
FAX(〇三)五四〇五一〇八九

瑞穂木材株式会社

木材製材販売・住宅資材販売
代表取締役 宮崎正毅
下高井郡木島平村大字穂高三二八一
TEL(〇二六九)八二一三一八
FAX(〇二六九)八二一四一五六

宮澤木材産業株式会社

代表取締役 宮澤重徳
長野市中曾根二一八八一五
TEL(〇二六)三九一〇五八八
FAX(〇二六)三九一三八八〇
環境事業部
TEL(〇二六)三九一三二五二
FAX(〇二六)三九一三二五二

細川木材株式会社

立木の伐採搬出作業・建築材プレカット
別荘建築
相談役 細川忠國
長野県諏訪郡幸町富士見一〇七〇九
TEL(〇六六)六二二二五一一
FAX(〇六六)六二二二五一一
E-mail:hosonokuk@nifty.com

株式会社 林友

代表取締役社長 穂苅淳
〒390 0841 松本市渚四一〇一七一
TEL(〇二六三)二五一〇一七一
FAX(〇二六三)二五一八七七二

株式会社 マル才力

木材、建材、住器、サッシ販売
プレカット(構造、羽根)、住宅用パネル
代表取締役社長 岡健一郎
長野市吉田五十二五二七
TEL(〇二六)二四三二二二八

王滝林業有限公司

素材生産請負・森林整備
立木買付・生産販売
取締役社長 西路明
木曾郡王滝村四五六三一二
TEL(〇二六四)四八二二六三三
FAX(〇二六四)四八二二六三三

大井木材有限公司

素材生産販売・伐出請負
代表取締役 大井翔太
木曾郡上松町緑町二一〇一七二
TEL(〇二六四)二四一〇七二一
FAX(〇二六四)二四一〇七二一

有限会社 中島林業

代表取締役 中島武東
佐久市取出町二〇三一七
TEL(〇二六七)六二一五七〇〇

有限会社 須江林産

代表取締役 須江豊
〒385 0022 佐久市岩村田一二六七一一
TEL(〇二六七)六七二二四一六
FAX(〇二六七)六七二四〇六〇

上伊那森林組合

もりもり上伊那
代表理事 白鳥孝
組合長 白鳥孝
役員一同

飯伊森林組合

代表理事 林和弘
組合長 林和弘
代表理事 古田英士
顧問 古田英士
役員一同

根羽村森林組合

信州根羽すぎ・根羽ひのき
代表理事 大久保憲一
組合長 大久保憲一
役員一同
下伊那郡根羽村四〇七一一〇
TEL(〇二六五)四九一二二二〇

和合森林組合

代表理事 村澤博光
組合長 村澤博光
役員一同

木曾森林組合

代表理事 神村光雄
組合長 神村光雄

謹賀新年



一般財団法人

日本森林林業振興会

支部長 土田 薫
 長野市稲葉二四一三三
 TEL(〇二六)二二六一〇九一五
 FAX(〇二六)二二六一〇九二七六

一般社団法人

長野林業土木協会

役員一同
 長野市稲葉母袋沖六一二二二
 TEL(〇二六)二二六一六二二二
 FAX(〇二六)二二六一三六一五

長野国有林

森林整備協会

会長 花見 隆夫
 副会長 林 和弘

日本林業土木(株)

長野出張所

出張所
 長野市岡田町三〇一六
 長野県林業センタービル内
 ☎(〇二六)二二七一六一八五



日本森林技術協会

長野事務所 職員一同

みどり産業株式会社

代表取締役 池田 正治
 本社/長野市大字稲葉二四一三三林友ビル
 ☎(〇二六)二二四一八七〇八
 FAX(〇二六)二二三一七九八九

株式会社 長野林友

代表取締役 大屋 孝好
 長野市大字稲葉二四一三三林友ビル
 ☎(〇二六)二二六一七七四一
 FAX(〇二六)二二六一七七四三



建設コンサルタント
 (森林整備 治山林道 環境事業等
 森林の総合調査設計)
株式会社 中部森林技術コンサルタント
 長野支店

支店長 小池 雄二
 長野市稲葉中千田沖二〇四〇一
 ☎(〇二六)二二四一八七一一

株式会社 森林テクニクス

長野支店
 長野市松岡二丁目六番三十四号
 TEL(〇二六)二四一九二七二



株式会社 クラサワ

おかげさまで創業二十二年
 住まいに関する総合資材販売
 取締役会長 倉澤 賢一郎
 代表取締役 倉澤 慶一
 長野市三輪一七七一一九
 ☎(〇二六)二四一一二二五四代
 FAX(〇二六)二四一一二二三〇七

林業用品専門店/帆布製品製造加工
 本職用打刃物

株式会社 大崎商店

代表取締役 大崎 久雄
 群馬県前橋市城東町一丁目二九一十
 TEL(〇二七)二三三一一六三九一
 FAX(〇二七)二三三一九九六二



株式会社 ウッドランド

林業用履物・山林資材・安全保護用品なら
 品質・安全性の高いものを提供します。
 〒115 0042 東京都北区志茂三十四一〇
 ☎(〇三)三五九八八八〇三
 FAX(〇三)三五九八八八〇四

長野県森連指定
 林業機械化協会会員
 チェンソー・刈払機・集材機
 ワイヤロープ・林業機械器具
有限会社 ガモウ商会
 代表取締役 蒲生 浩明
 松本市波田中波田五二一八一
 ☎(〇二六)三九二二二四六八

国有林材大径木建築材
 スギ・ヒノキ・カラマツ
有限会社 伊藤商店
 代表取締役 伊藤 定三
 上水内郡信濃町柏原二六八〇一
 ☎(〇二六)二五五一一三〇九七
 FAX(〇二六)二五五一一五八三一

株式会社 酒井工業所

サンドキーパーマット
 SN緑化万能マット
 カゴ枠・大型カゴ枠・パネルフトン籠
 松本市村井町南三丁目一〇番一四号
 ☎(〇二六)三五八一三二〇一
 FAX(〇二六)八六一三三八一

木曾南部森林組合

代表理事 中村 今朝男
 組合長 中村 今朝男
 役員一同

南木曾町森林組合

代表理事 藤原 和年
 組合長 藤原 和年

長野森林組合

代表理事 酒井 美明
 組合長 酒井 美明
 役員一同

北信州森林組合

代表理事 中山 稿一
 組合長 中山 稿一
 役員一同

栄村森林組合

代表理事 桑原 重雄
 組合長 桑原 重雄



謹賀新年



森林整備・素材生産（産廃）収集運搬業
支障木伐採 処理 薪販売

オガサワラ林業

代表取締役 小笠原 良一

松本市中山四一三五―四
☎（〇二六三）五八一五九三九

信州・松本平の豊かな風景をつくる

株式会社 柳沢林業

松本市岡田下岡田七七四―一
☎（〇二六三）八七―五三六一

素材生産事業 森林整備事業

有限会社 高遠興産

代表取締役 林 敏行

〒396-0023 長野県伊那市山寺一五五八―一
☎（〇二六五）七二―一五三〇八
FAX（〇二六五）七二―一八三〇八

“自然と共に”

NPO法人 **森林環境**

理事長 湯 沢 要 次

長野県駒ヶ根市経塚七―一
☎（〇二六五）八一―四八〇三

建築用材製材・信州木材製品認証工場

伊藤木材株式会社

代表取締役 伊藤 利文

上水内郡信濃町柏原二六七―一
☎（〇二六）二五五―二〇一七
FAX（〇二六）二五五―二二三三
info@itou-mokuzai.com

国内産ヒノキ間伐材使用
高圧木毛セメント板製造・販売

タケムラ 竹村工業株式会社

下伊那郡松川町上片桐4604
TEL 0265-36-6111
FAX 0265-36-6555
info@takemura.co.jp

林業用薬剤と
グリーンメンテナンス

松くい虫防除・芝地総合管理
非農耕地雑草防除
― 緑と土と水を守る ―

長野県森連指定業者
長野県林業薬剤防除協会員

アコロ信州

本社 ☎0269-23-2135 FAX0269-23-2153
中信務課 ☎0263-77-8863 FAX0263-77-8893

共栄火災海上保険株式会社
甲信越支店

支店長 米田 俊幸

長野市南県町六九三―四
☎（〇二六〇）二三四―二一六三
FAX（〇二六〇）二三四―二一六三

損害保険代理店
環境事業計画施工・墓石

株式会社 モリレン長野

代表取締役 田中 高德

長野市中御所岡田町三〇一―一六
☎（〇二六〇）二六七―六六三六
FAX（〇二六〇）二二六―二二三二

今年も山で 軽量タイプ
杭の大活躍！ 持ち運びもラク！

かぐや杭 仮杭

ご連絡頂ければ無料配送
(TEL・FAX・Mail 何でもOK)

最新版 総合カタログ 進呈

地球にやさしい
株式会社 リプロ

〒701-0213 岡山市南区中畦1186
TEL.086-298-2281(代) FAX.086-298-2121
e-mail info@ripro.co.jp ホームページ www.ripro.co.jp

木から学び、木から発想する新しい展開。

woodlink ウッドリンク株式会社

■本社 富山県射水市寺塚原415
Tel. 0766-84-4477 Fax. 0766-84-4479
住宅資材事業部

■製材事業部 富山県高岡市能町2000
Tel. 0766-21-2628 Fax. 0766-25-0891

営業店 ・富山店 ・金沢店 ・福井店 ・上越店

新製品 産官連携により開発された長野県産
「信州杉製バックボード型担架S・B・T」
注文家具製作・木材特殊加工

日装工務所

長野市川中島町御厨芝原九〇〇―一
TEL（〇二六）二八四―〇七三八
FAX（〇二六）二八三―二二三八

東信木材センター
協同組合連合会

理事 長 齋 田 中 敏
副理事 長 小 相 沢 高 徳
専務理事 滝 崎 廣 一
理事 星 野 勝 雄
理事 大 久 保 千 城
理事 山 岸 陸 男
理事 伊 藤 沢 和 晴
理事 黒 澤 孝 夫

小諸市甲字敷掛四七四七
☎（〇二六七）二二二―〇八八七
FAX（〇二六七）二二二―二九三三

Engineered Wood

LVT

KEY-TEC

03-5534-3741 http://www.key-tec.co.jp



謹賀新年



ホームページアドレス <http://www.daietsy.co.jp>
 松本市波田二九五一一三七
 ☎(〇二六三)九二一五〇五一
 FAX(〇二六三)九二一五八〇九

大栄産業株式会社

唐松・杉・桧各種素材丸太・製材品
 組建物・看板・加工一般・施工一式
 新型インサイジング
 (角材及び円柱可能)
 防腐加圧処理(ACQ・その他)
 ※加圧処理は、長さ16.0mまでできます
 ウッドレリーフ製作

信州の木認証合板で 地産地消の緑の循環



針葉樹合板のパイオニア
林ベニヤ産業株式会社

(本社) 06-6228-1401
 (北陸営業所) 0767-52-4376

環境にやさしいシカの忌避剤
 農林水産省登録第22312号
全卵粉末水和剤 ランテクター水和剤
 シカ・ウサギ・カモシカの食害から守る忌避剤
 農林水産省登録第17911号
ジラム水和剤 コニラファー水和剤

販売元
大同商事株式会社
 東京都港区浜松町一丁目十番八号
 電話 03-5470-8491



長野県産間伐材利用
 植生基在マット



グリーン
 フォーマット

環境緑化製品の製造・販売

太陽と緑の国づくり

Nikon 日本植生株式会社

長野県環境保全に
 貢献します

〒390-0852 長野県松本市島立302-5
 TEL: 0263-47-8955 FAX: 0263-47-8957

“おかげさまで22周年”
 原木運搬、木くずの収集運搬
株式会社 岩船陸送
 代表取締役 堀 米 伸 一
 お問い合わせ受付
 ☎0269-381761

グリーンプラマーク取得
 地球にやさしい
 生分解性プラスチック用の
 クリ基用被覆シート
信濃化学工業株式会社
 〒381-0045
 長野県長野市桐原1-2-12
 TEL 026-243-1115
 FAX 026-243-1520

2017 平成29年 新春初市のご案内

製品 第20回全市連国産材需要拡大製材品特別展示会
 1月28日(土) セリ 売出し9時 保証金10万円

原木 国有林土場等活用委託市 1月10日(火) 開札 10時30分
 坂下事務所 1月11日(水) 入札 13時 保証金10万
 荻原事務所 1月31日(火) 入札 13時 保証金10万

2月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売日
特選材市 2月25日(土)	2月28日(火)	2月 1日(水) 2月22日(水)	2月 7日(火) <small>入札物件紹介・入札結果はホームページに掲載 ※本市売は、これまでの木曾地区国有林の公売に代わるものです。</small>



木曾官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

荻原事務所：長野県木曾郡上松町荻原字中島 1431-1 ☎0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885
 やぶ原土場：長野県木曾郡木祖村荻原844-1 ☎0264-24-0085(代) FAX0264-24-0086
 坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1 ☎0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。

理事長 野村 弘
 本部事務所：長野県木曾郡上松町正島町2-45
 ☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324

レーザーセンシング情報 によるスマート精密林業 技術の開発を目指して

平成二十八年十二月八日(木)に信州大学松本キャンパス(松本市)にて、「レーザーセンシング情報を使用した持続的なスマート精密林業の開発」コンソーシアム設立総会・調印式が行われました。

このプロジェクトは、航空機・ドローン・バックパック(携帯歩行)レーザー計測による情報の統合技術により、森林調査をサンプル調査から全数調査に置き換え、単木ごとの樹種・樹高・材積・位置、間伐や森林災害の状況、地形や路網情報等を把握し、森林情報の見える化を図り、素材生産量の管理・高性能林業機械の高効率運用管理・事業計画から作業設計にかかるコストの縮減等、森林作業の省力化と木材生産性を向上させるスマート精密林業技術の開発を目指しています。

設立総会・調印式は、研究機関として信州大学、アジア航測、北信州森林組合、普及担当機関として長野県、中信森林管理署、長野県森林組合連合会により行われ、終了後、キックオフシンポジウムが同松本キャンパスで百名を超える参加者により大変充実した内容で催されました。



キックオフシンポジウムの様子

調印式での滝澤専務理事による挨拶

平成29年 長野県内木材市売日程 2017

	飯伊木材共販所	木曾官材市売				長野県森連			
		本部事務所 製品	萩原事務所 原木	坂下事務所 原木	国土等 活用委 市売目(原木)	伊那木材センター 原木	中信木材センター 原木	北信木材センター 原木	
1月	初市 20(金)	第20回全市連産材需要 拡大製材品特別展示会 28(土)	初市 31(火)	初市 11(水)	初市 10(火)	初市 (ひのき祭り) 13(金)	初市 12(木)	初市 11(水) 11(水) 31(火)	
2月	17(金)	特選材市 25(土)	28(火)	1(水) 22(水)	7(火)	2(木) 21(火)	広葉樹祭り 1(水) 20(月)	22(水)	
3月	23(木)	年度末謝恩市 18(土)	22(水)	8(水) 21(火)	7(火)	10(金) 30(木)	9(木) 29(水)	14(火) 30(木)	
4月	20(木)	花まつり 第43回全木協連優良 国産材製材品展示会 22(土)	春季謝恩市 25(火)	6(木) 春季謝恩市 24(月)	18(火)	18(火)	17(月)	19(水)	
5月	18(木)	新緑まつり 20(土)	23(火)	10(水) 24(水)	9(火)	11(木) 31(水)	10(水) 30(火)	17(水)	
6月	22(木)	荷主会結成 49周年記念市 24(土)	27(火)	7(水) 22(木)	6(火)	20(火)	19(月)	8(木) 28(水)	
7月	20(木)	第50回木材まつり 29(土)	19(水)	6(木) 中元謝恩市 24(月)	4(火) 25(火)	12(水)	11(火) 31(月)	19(水)	
8月	24(木)	特選材市 26(土)	29(火)	8(火) 24(木)	22(火)	1(火) 29(火)	28(月)	森の恵み ふれあい祭り 5(土)	9(水)
9月	21(木)	特選材市 16(土)	20(水)	7(木) 開設19周年記念市 26(火)	12(火)	15(金)	14(木)	6(水) 27(水)	
10月	19(木)	開設50周年記念市 21(土)	創立62周年記念 第33回日本美林まつり 25(水)	11(水) 26(木)	17(火)	4(水) 25(水)	3(火) 23(月)	開設59周年記念市 24(火)	
11月	16(木)	えびすこう謝恩市 18(土)	21(火)	9(木) 27(月)	7(火)	開設56周年記念市 21(火)	開設55周年 1000回記念市 20(月)	14(火) 29(水)	
12月	納市 19(火)	納市 16(土)	納市 19(火)	納市 14(木)	納市 5(火)	納市 14(木)	納市 13(水)	納市 14(木)	

飯伊森林組合
〒395-0033 飯田市常盤町30
TEL (0265) 22-0604
FAX (0265) 22-0612
共販所
〒395-1101 下伊那郡喬木村400-14
TEL (0265) 33-3361
FAX (0265) 33-3494

◎売り出し 製品(セリ)過年9時・原木(入札)過年13時
国有林土場等活用委託販売開始過年10時30分
(注) 国有林土場等活用委託販売開始時間については、中野森林管理署の都合により変更されることもあります。
木曾官材市売協同組合
本部事務所 〒399-5604 長野県木曾郡上松町正島町2-45
TEL 0264-52-2480 FAX 0264-52-2324
萩原事務所 〒399-5608 長野県木曾郡上松町大字萩原中島1431の1
TEL 0264-52-2480 FAX 0264-52-4885
坂下事務所 〒509-9232 岐阜県中津川市坂下133-1
TEL 0573-75-3178 FAX 0573-75-3172
ホームページアドレス http://www.kisokan.com

長野県森林組合連合会 TEL (026) 226-2504
FAX (026) 226-2225
〒380-8567 長野市岡田町30-16 (長野県林業センタービル内)
★最新市売情報については当会ホームページをご覧ください。
伊那木材センター 〒399-4432 伊那市東春近2973
TEL (0265) 72-2684
FAX (0265) 76-8759
中信木材センター 〒399-8102 安曇野市三郷里4000
TEL (0263) 77-2347
FAX (0263) 77-2349
北信木材センター 〒381-0003 長野市穂保中ノ配342-1
TEL (026) 295-5546
FAX (026) 295-5547

第982回 市売市況表

(平成28年12月15日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター

Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759



○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
ひのき	3.0	直	14~16	13,000	9,000	○	直造材が願います
		直	18~22	16,000	13,500	○	3m柱材に引き合い活発
	4.0	直	14~16	12,000	8,000	○	4m材土台取りに引き合い活発
		直	18~22	17,000	13,000	○	直造材で願います
		曲	18~22	12,000	10,000	-	曲材は引き合いが悪い
		直	24~28	17,000	13,000	○	
元	30~40	35,000	11,000				
カンパ	4.0	直	40上	90,000		○	
さくら	3.8	直	30上	120,000		○	30上太物良材に需要あり
くり	1.6~5.0	直	18~30	20,000	15,000	-	18上の直材(良材)に庇札活発
直		30上	66,000	18,000	-	16下は需要なし	
キリ	4.0	直	36	35,000		-	太物良材に需要あり
からまつ	4.0	直	18	13,000	10,000	-	
		直	20上	12,000	10,000	-	4m材の直材(良材)に需要あり
		直	14~16	8,000	4,000	-	
すぎ	4.0	直	30上	21,000	17,000	-	
		直	24~28	13,000	7,000	-	4m材の直材(良材)に需要あり
あかまつ	4.0	直	40上	16,900		-	
		直	24上	11,000	8,500	-	4m材24上梁材に需要あり。伐採予定の方はご相談ください。
	6.0	直	30上	25,900		-	

出品量1,580㎡ 販売量1,577㎡ 落札率99% 買い方 40社

今年一年優良材を御出品していただき職員一同感謝いたします。今回の市売りでは、特に広葉樹(さくら、カンパ)に札が集中し、また、ひのきに関しては並材中心でしたが、今年一番の庇札数で、活発な市売りになりました。次回伊那木材センターでは、初市(ひのき祭り)を開催します。是非ひのき、優良材の出品をお願いします。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。出材には合法認定事業者の登録をお願いします。ことともに出材時にはその都度、合法認定番号および伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。

第984回 市況表

(平成28年12月14日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター

Tel 0263-77-2347 Fax 77-2349



○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	12,000	9,000	-	3.0m X 14~18cm 柱取り引合いあります。
	4.0	直	30~48	25,000	11,000	-	20cm上は4.0m造材してください。
	5.0~7.0	元	36~72	15,000	12,000	-	
ひのき	3.0	直	20上	30,000	13,000	-	材不足していますが並材値段横這い。
	4.0	直	20~28	25,000	14,000	-	
	1.2~4.0	元	36~70	79,000	32,000	-	
からまつ	4.0	込	6~13	10,000	8,000	-	材不足しています。
		直	14~18	10,000	8,000	-	ご注文をお願いします。
		直	20上	19,000	12,000	-	
		曲	14~18	8,000	5,000	-	
		曲	20~40	10,000	7,000	-	
あかまつ	4.0	込	18~24	15,000	8,000	-	梁長材に需要あり。
		込	26上	83,000	11,000	-	伐採予定がある場合はお問い合わせください。
けやき	2.0~4.0	込	36~62	35,000	20,000	-	
		一本売		180,000	15,000	-	
ナシ	4.0	込	18~56	200,000	33,000	○	広葉樹、庇札活発ご出品下さい。
		込	16~42	58,000	16,000	○	
なら	2.0~5.0	込	14~50	51,000	18,000	-	

出品量 2,979㎡ 販売量 2,934㎡ 落札率 98% 買い方 54社

今年も皆様のご協力により昨年以上の取扱量を達成することができました。当センター職員一同心より感謝御礼申し上げます。今回の納りも庇札が多く高値がみられ来年も期待できそうです。今後ともよろしく願いいたします。
尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。12月29日(木)より1月3日(火)まで年末年始休暇となりますのでご承知ください。

第1016回 市売市況表

(平成28年12月14日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター

Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547



○ 強気配 - 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000		柱材需要あり。直造材で願います。
		直	20上	13,500	10,000		直造材で願います。
	4.0	込	8~13	5,500	4,500		需要あり。出品願います。
		直	14~20	12,500	9,500		出品願います。
		直	22~28	14,000	10,000		出品願います。
		直	30上	17,000	11,000		直造材で出品願います。
		曲	14~18	6,000	4,000		
		曲	20上	11,000	7,000		
	5.0	直	30上	18,000	12,000		伐採前にご相談ください。
	からまつ	3.0	込	9~13	9,500	6,000	
直			14~18	11,000	8,000		直造材で願います。
込			6~13	11,000	6,000		需要あり。直造材を心がけて下さい。
からまつ	4.0	直	14~18	12,500	9,000		需要あり。積極的に出品願います。
		直	20上	18,000	12,000		需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14~18	5,100	5,000		
からまつ	6.0	直	20上	12,500	11,000		
		直	26上	22,000	14,000		需要あり。直造材を心がけて下さい。
すぎ	5.0~6.0	直	13~18	16,000	13,000		土木需要あり。出品願います。
ひのき	3.0	直	16~18	15,000			
		直	20上	16,500			
	4.0	直	16~18	20,000			
		直	20~28	20,000			
からまつ	4.0	直	30上	22,000			
		曲	20上	17,000			
けやき	3.2	直	80	300,000			一本単価
とち	0.8	直	74	135,000			
くり	3.0	直	36	38,500			

出品量3,400㎡ 販売量3,347㎡ 落札率98.4% 買い方 44社

今回は、多くの方にご来場いただき、納りにふさわしい賑やかな市売りとなりました。なお、市況といたしましては、スギの価格は横ばいでしたが、カラマツの価格は上昇傾向となっております。どちらにも需要はありますので、引き続きご出品をお願いします。
また、当センターでは来年1月31日の市売りを「広葉樹祭り」として開催する予定となっております。広葉樹が大盛況に必要となりますので、ぜひとも出荷にご協力を願います。
今回で今年の市売りが最後となります。毎回盛大な市売りができるのも出荷者の皆様のおかげと改めて感謝申し上げます。来年も引き続き当センターにご協力をお願いします。
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いしますとともに、出荷時にはその都度必ず(合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の) 納品書の提出をお願いします。

第482回 木材共販市況表

(平成28年12月20日実施)

出品量 1,850㎡・買い方 18社・落札率 92.0% 飯伊森林組合木材共販所



樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円)	平均値 (円)	平均石値 (円)	備考	
ひのき	2.0	直	18~46	28,800	18,000	5,040		
		直	14	9,000	8,000	2,240		
	3.0	元直	16	17,500	14,000	3,920		
		込	18~22	25,500	16,500	4,620		
		込	24~28	28,500	18,500	5,180		
		中込	16~22	15,000	13,000	3,640		
		込	24~28	15,000	12,500	3,500		
		元	30上	35,000	22,500	6,300		
		元直	16~22	28,000	17,000	4,760		
		元	24~28	32,000	24,000	6,720		
からまつ	3.0	直	30上	38,500	30,500	8,540		
		中直	12~14	9,000	8,000	2,240		
	4.0	込	16~22	15,000	13,000	3,640		
		込	24~28	17,000	13,000	3,640		
	4.0	直	12下	360	300		一本売り	
		4.0	込直	16~18	8,500	7,500	2,100	
	すぎ	3.0	込直	20~22	10,500	8,000	2,240	
			直	24~28	13,200	10,500	2,940	
			直	30上	18,500	12,000	3,360	
			直	18~22	8,000	7,500	2,100	
からまつ	3.0	直	24~32	8,000	7,500	2,100		
		直	14~22	5,000	4,500	1,260		
からまつ	4.0	込	12~14	5,500	5,000	1,400		
		込	16	8,500	5,000	1,400		
	4.0	込	18~28	12,800	8,000	2,240		
		直	30上	13,200	9,000	2,520		
	4.0	小曲り	14~30	5,000	3,500	980		
		直	12下	360	270		一本売り	
まかつ	4.0	直	36~56	23,000	12,500	3,500		
さくら	4.0	直	30上	19,000	11,000	3,080		

ひのき、良材に庇札あり、価格は横ばい。
すぎ、価格は横ばい。その他太物良材に活発に庇札あり。あかまつ良材に庇札あり。
年間出荷協力いただきありがとうございました。

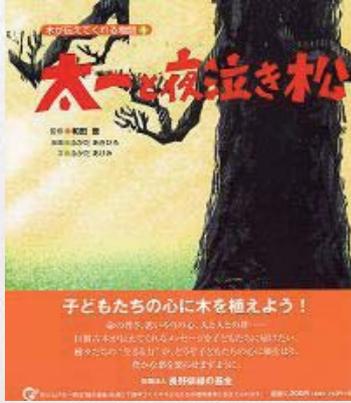
「木が伝えてくれる物語」シリーズのご紹介

公益財団法人長野県緑の基金



長野県に広がる豊かな森は、私たちの暮らしを支え、信州の文化を育てています。「木が伝えてくれる物語」シリーズは、子どもたちの心に木を植えるプロジェクトとして、未来を生きる子どもたちの支えになることを願っております。

一冊 1,200円(税込)



下伊那郡大鹿村 夜泣き松



塩尻市旧榎川村・賢川のとちの木



飯山市・神戸の乳房いちよう



下伊那郡根羽村・月瀬の大杉

絵本のお求め・お問い合わせは
 公益財団法人長野県緑の基金

TEL 026-232-0111 (内線4819) Fax 026-234-0330
 Email: green@midori-joho.gr.jp



この絵本を通じて、命の大切さや思いやりの心を感じ、また身近な・森林づくりを考えるきっかけになれば幸いです。